

公益社団法人 日本顕微鏡学会
表彰・奨励規程

制定：平成24年 7月7日

改正：平成25年 1月26日

改正：平成28年 9月17日

改正：平成31年 3月16日

(目的)

第1条 公益社団法人日本顕微鏡学会（以下「この法人」とする）細則（以下「細則」という）第6条に規定の表彰および奨励事業を行うにあたり、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰および奨励の種類)

第2条 この法人は、日本顕微鏡学会学会賞(瀬藤賞)(以下「学会賞」とする)、日本顕微鏡学会論文賞(以下「論文賞」とする)、日本顕微鏡学会和文誌賞(以下「和文誌賞」とする)、日本顕微鏡学会奨励賞(以下「奨励賞」とする)、日本顕微鏡学会技術功労賞(以下「技術功労賞」とする)を設ける。各賞の内容について、それぞれ以下に、規定する。

(学会賞)

第3条 顕微鏡の基礎および応用研究ならびに技術の進歩発展に関する功績を顕揚するために学会賞を設定する。本賞は、顕微鏡学において相当期間にわたって高い水準の業績を挙げることにより、本学会に貢献した功績が顕著で会員の模範となる個人に与えられる賞である。

第4条 本賞の対象者は、この法人の正会員から他薦により推薦された正会員とし、業績の一部に共同研究者があっても、原則として単独受賞とする。

第5条 受賞者の選考は別に定める表彰・奨励選考規則により決められる本賞の選考委員で行う。選考委員は別に定める表彰・奨励選考委員会規則に従い選出する。受賞数は毎年4件以内とする。

第6条 会長は選考結果の報告を受け、これを理事会に諮り、受賞者を決定する。本賞の授賞式は、通常総会において行い、賞状、および賞牌を授与する。

第7条 受賞者は、この法人の講演会で受賞講演発表を行なうものとする。

第8条 本賞に関する経費は、公益目的事業会計から支出する。

(論文賞・和文誌賞)

第9条 この法人は、奨学のため、論文賞と和文誌賞を設定する。

第10条 本賞の受賞者はこの法人の正会員から他薦により推薦された個人とし、この法人の

会員に限定しない。

- 第11条 論文賞は欧文誌 Microscopy に掲載された論文の中より前2ヶ年の実績を審査し、学術上または技術上特に優秀な論文若干編に対し、年1回表彰する。
- 第12条 和文誌賞は学術邦文誌、「顕微鏡」に掲載された論文の中より前2ヶ年の実績を審査し、学術上または技術上特に優秀な論文や解説1編に対し、年1回表彰する。
- 第13条 授賞論文の選考は別に定める表彰・奨励選考規則により、選考委員会で行う。選考委員は別に定める表彰・奨励選考委員会規則に従い選出する。
- 第14条 会長は選考結果の報告を受け、これを理事会に諮り、授賞論文を決定する。
- 第15条 本賞を授賞すべき適当な論文がない場合には、その年度は表彰しない。
- 第16条 本賞の授賞式は通常総会で行い、賞状、および賞牌を授与する。
- 第17条 本賞に関する経費は、公益目的事業会計から支出する。

(奨励賞)

- 第18条 本会は顕微鏡学および顕微鏡法研究に関わる若手研究者奨励のため、奨励賞を設定する。
- 第19条 本賞は顕微鏡ならびにそれを用いた研究の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、将来の発展を期待しうる本正会員若干名に年1回授賞する。受賞者は、この法人の正会員から他薦により推薦された正会員とし、推薦される年度末において満 40歳以下のものとする。
- 第20条 本賞の選考は別に定める表彰・奨励選考規則により、選考委員会で行う。選考委員は別に定める表彰・奨励選考委員会規則に従い選出する。
- 第21条 会長は選考委員会の報告を受け、これを理事会に諮り、受賞者を決定する。
- 第22条 本賞の授賞式は通常総会で行い、賞状および賞牌を授与する。
- 第23条 本賞に関する経費は、公益目的事業会計から支出する。

(技術功労賞)

- 第24条 この法人は顕微鏡の応用技術振興のため、技術功労賞を設定する。
- 第25条 本賞は顕微鏡応用技術開発に功労のあったこの法人の正会員若干名に年 1 回授賞する。受賞対象者は、この法人の正会員から他薦により推薦されたものとする。
- 第26条 本賞の選考は別に定める表彰・奨励選考規則により選考委員会で行う。選考委員は別に定める表彰・奨励選考委員会規則に従い選出する。
- 第27条 会長は選考委員会の報告を受け、これを理事会に諮り、受賞者を決定する。
- 第28条 本賞の授賞式は通常総会で行い、賞状および賞牌を授与する。
- 第29条 本賞に関する経費は、公益目的事業会計から支出する。

以上